

| | | | | | |
|------------------------------|---|------|---|-------------------------|-------|
| 開講期 | 2025年度後期 | | | 単位数 | 2.0単位 |
| 科目[授業]名 | 5610 映像制作基礎2 | | | 開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ) | 週間授業 |
| 種別 | 人数制限(抽選) | | | 定員 | 15 |
| 履修可能学年 | 全学年履修可 | 重複履修 | × | 全学開講 | ○ |
| 曜日時限 | 木曜3限 | | | | |
| 教室 | E302(メディア室6) | | | | |
| 代表教員 | 飯田 基晴 | | | | |
| 担当教員 | 飯田 基晴 | | | | |
| テーマと到達目標 | 映像制作の基本技術をしっかり身に着けることを目標としています。この授業は「映像制作基礎1」の受講生、または映像制作の経験がある学生を想定しています。映像制作未経験の学生は、まず「映像制作基礎1」を受講してください。 | | | | |
| 概要 | 作品の撮影や編集は、授業時間内で終わられるとは限りません。授業外に行うこともあります。また授業で撮影や編集の課題を出します。実技科目なので、受講生の理解度を見ながら内容を調整していきます。 | | | | |
| 対面科目/オンライン科目 | 対面科目 | | | | |
| 授業計画 | | | | 担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載) | 授業方式 |
| 第1回 | 映像による他者紹介・撮影および編集 | | | | 対面授業 |
| 第2回 | 映像による他者紹介・編集および鑑賞 | | | | 対面授業 |
| 第3回 | 業務用ビデオカメラを使ったマニュアル操作① | | | | 対面授業 |
| 第4回 | 業務用ビデオカメラを使ったマニュアル操作② | | | | 対面授業 |
| 第5回 | 音声収録の基本 | | | | 対面授業 |
| 第6回 | 照明の基本① | | | | 対面授業 |
| 第7回 | 照明の基本② | | | | 対面授業 |
| 第8回 | 編集① | | | | 対面授業 |
| 第9回 | 編集② | | | | 対面授業 |
| 第10回 | インタビュー撮影の実践・編集 | | | | 対面授業 |
| 第11回 | インタビュー撮影の編集および鑑賞 | | | | 対面授業 |
| 第12回 | 企画検討、チーム分け | | | | 対面授業 |
| 第13回 | チームによる撮影および編集① | | | | 対面授業 |
| 第14回 | チームによる編集および編集② | | | | 対面授業 |
| 第15回 | 作品上映会、授業振り返り | | | | 対面授業 |
| 成績評価の基準 | 出席と授業への参加姿勢、授業内の課題制作で評価 | | | | |
| 履修にあたっての留意事項 | 定員15名。こちらの授業は、昨年度の「映像制作基礎【1】」「映像制作基礎【2】」の単位取得者も履修が可能です。撮影機材は学科所有のものを使い、編集はメディア室のMacか、各自が所有するパソコンで行います。 「地域・同時代を撮る」や「映像制作研究ゼミ」の受講を考えている学生は、ぜひ本授業を履修してください。 私自身、長らく映画・映像制作に取り組んできました。この授業は、実務経験のある教員による授業です。その経験を生かした技術をレクチャーします。 | | | | |
| オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細 | | | | | |
| 【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件 | T学科の低学年から順に優先 | | | | |

◆教科書・教材

| | | | |
|---------------|---|------------|--|
| 教科書以外に必要な教材費用 | SDカード（撮影用・64GB以上・1,000円～）、イヤホン（撮影・編集用・1,000円～）、ポータブルSSD（編集用・USB接続・250GB以上・exFATでフォーマット・3,000円～）※初回授業時に詳細を説明します。 | | |
| 教科書 | | 教科書(ISBN) | |
| 参考文献 | 「大学生のための動画制作入門 言いたいことを映像で表現する技術」黒岩亜純・宮徹著/2017年/慶応義塾大学出版会 | 参考文献(ISBN) | |